

# さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
白い玉が2つと黒い玉が3つでは 32点、  
白い玉が6つと黒い玉が3つでは 48点 になります。  
このとき、白い玉1つと黒い玉1つ の得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	32点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ●	→	48点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( ) 点 … (あ)

② 上の図の (あ) のことから、白い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)

点

③ 黒い玉1つ の得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	32点
○ ○	→	( ) 点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( ) 点 … (い)

④ 上の図の (い) のことから、黒い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)

点

# さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
 白い玉が2つと黒い玉が3つでは 32点、  
 白い玉が6つと黒い玉が3つでは 48点 になります。  
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つ の得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	32点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ● ●	→	48点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○ ○ ○	→	( 16 ) 点 … (あ)

② 上の図の (あ) のことから、白い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)  $16 \div 4 = 4$

4 点

③ 黒い玉1つ の得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ●	→	32点
○ ○	→	( 8 ) 点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ●	→	( 24 ) 点 … (い)

④ 上の図の (い) のことから、黒い玉1つ の得点を求めましょう。

(式)  $24 \div 3 = 8$

8 点